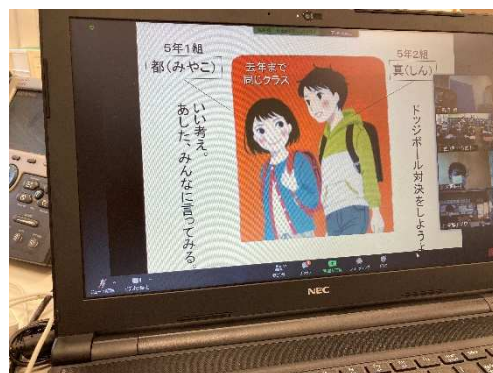


日 時	2020年9月18日(金) 15:00～17:00
研 修 名	「道徳教育研修会【Zoomによるオンライン研修】」
研修の目的	主体的・対話的で深い学びに向けた「道徳の授業改善」について、第一線で活躍されている道徳教育の研究者かつ実践者である鈴木健二先生の講話を聴き、今後の道徳授業に資する。
テ ー マ	道徳教育講演会研修会【Zoomによるオンライン研修】
講 師 名	鈴木 健二先生（愛知教育大学 教授）
会場・場所	北部生涯学習推進センター配信、各学校及び研修場所
研修内容	<p>道徳の授業づくり（おもしろく、深い、道徳授業とは?）</p> <p>理論編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.基礎・基本を身につける。→ 認識の変容を促される授業 2.その教材ならではのねらいを設定する。 3.教材に興味を持たせる。（問題意識を高める。） 4.思考を刺激する発問を工夫する。→身近な問題として意識づける（小さな道徳授業が土台） <p>演習 小さな道徳授業 日々の5分～10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.電車の中での絵を見せて → 子ども達に場面や台詞を考えさせる。 2.教材(教師が感動した教材)+発問(思考を刺激するもの) 朝の会・帰りの会など 3.小さな道徳が行動の指針となる。→ 学級経営に生きる。 4.身近な教材に気づく視点→子どもの心が育つ→教師の授業力が上がる。 5.授業づくりアイディアシート(資料を活用して) 6.その教材ならではのねらいの設定 → 教材に興味を持たせよう。 7.思考を刺激する発問をつくろう。 → 子どもが知っている発問は削る 8.発問の工夫・・・子どもが考えたくなる発問・思わず考え込む発問・多様な考えが対立する発問等
成果／活用策	<p>○小さな道徳授業の site をぜひ活用してみたい。発問を鍛えることの大切さがわかった。</p> <p>○小さな道徳授業はすぐに実践して活かせる。見方や考え方を多面的に子どもに求める前に自らそうする努力、基礎基本を大切に気構え、発問を考える、考えたくなる授業、提示の仕方にも一工夫、自分事にする、思わず考える、何より楽しい。教材研究今日からすぐやるぞ！！</p> <p>○道徳授業づくりの基礎・基本、その教材ならではのねらい、思考を刺激する発問の工夫（児童目線で）。</p> <p>○身近な問題として意識づける（行動や言葉に影響を及ぼしているか?）⇨認識の変容を促す、ベスト3を提示⇨意識の持続を図る（行動の指針）、少しの教材の工夫で「おもしろく深い授業」になる。そのことを意識して実践していきたい。</p> <p>○おもしろく深い道徳の授業をつくるために必要な基礎・基本が具体的で示され、即実</p>



践できる内容でとても良かった。

- オンラインではあったが、具体的に作業をしながら講座が進んでいったので、理解しやすかった。ミニ道徳や1時間の道徳授業づくりに関して、新たな視点を得ることができた。挿絵を使った導入など、本文に入る前に生徒を惹きつける工夫、教科書会社の「ねらい」を読む前に教科書を読み込む手順など、授業づくりの参考になる実践的な内容が多く勉強になった。
- 道徳の授業をつくる時の考える手順が分かったような気がしました。
- 教材に興味をもたせること。思考や刺激する発問。
- 今年度のコロナの影響で、研究校（道徳）がなくなったのは残念です。先生方は、熱量落ちず、ローテーション授業、TT 授業に取りくんでいる。次年度に向け、本校の取り組みの大きなヒントを得ました。
- 「学級経営につなげる」という視点がとても参考になりました。
- 今ローテーションで担当している教材の導入と発問を考え直してみようと思いました。アイデアも浮かびました。
- 授業づくりのヒントを貰えた。生徒の認識の変容につなげる纏め方を知ることができた。
- 本質を捉えることができていなかった。これから頑張りたい。
- ねらいや発問の作り方など、具体的な例とともに教えていただきました。次回からの授業づくりで実践したいと思います。
- 提示のアイデアがとても参考になりました。これからの授業に活用したいと思います。
- 教科書の赤字に頼るのではなく、出来るだけ自力で「ねらい」や「発問」を考えようと思いました。
- 小さな道徳の活用の仕方、アイデアシートの活用。
- 小さな道徳は、とても興味をひきました。考えるのに教材はいろいろなところがあるので、実際にやってみたいです。
- 小さな道徳と導入の工夫。
- 「ねらい」への迫り方、授業の作り方が分かりやすく教えていただいたので、次の授業づくりに直ぐ活用できると思います。発問づくりや提示の仕方なども実践していこうと思いました。
- 「小さな道徳」いろんな時間を活用して実施していきたいと考えました。
- 授業構成について分かりやすく説明をいただいたので、教材に興味を持たせる（問題意識を高める）事について自分が分かっていた事を知ることができました。
- 成果として「小さな道徳授業」の実践方法、事例、効果等について研修することができました。興味を持たせる提示の工夫（教材）や思考を刺激する発問の工夫にもつながることで、教師の授業改善、スキルアップにもつながる方法だと思い、今後、本村でも推奨していけたらと感じました。
- Zoom を活用してのオンライン研修会に参加することが初めてでした。実際に参加することで、多くの学び・発見がありました。
- 講話をじっくり聴くことができたように感じています。



感想／要望

- 前日も大変勉強になりましたが、さらに深く理解することができました。小さな道徳授業の実践が国頭地区に広がればいいなと思いました。実際の授業に生かせる演習がとてもよかったです。
- 小さな道徳授業での学びが行動の指針となること、発問をしぼることで議論する。
- 問題意識を持たせてから教材文に出会わせる（出会いを大切にする）
- 映画の予告のようなもの。インパクト+コンパクト
- 教材に興味をもたせる。（教材を読んでみたくなるように）。（挿絵・教材名・地文・会話文から）⇒映画の予告のように！←発問につなげる。
- 子どもが考えたくなる発問（思わず考えこむ、考えが対立、多様な考えが浮かぶ）。教材の提示の仕方、発問の工夫の基礎・基本をおさえて実践できるようにしたい。今後の授業に活かしていきます。今日は本当にありがとうございました。
- 小さな道徳授業の活用は、授業のみならず職員の研修にも応用できると感じた。認識の変容を促されるととても良い研修でした。
- 指導案も見ないで、教材に向き合ってみようと思いました。そして、教材に興味をもたせ、思考を刺激する発問をし、身近な問題として意識づけられるように今後頑張りたいと思います。
- 「小さな道徳」の時間の設定の話、本校でも実践したいと思いました。
- 「教材+発問」、生徒への小さな道徳が試したいと思いました。
- 「自身で一から教材を作っていく事で子ども達に深い思考」が生まれる。とても参考になりました。
- 導入を生徒の興味をひくという視点で考えてはいましたが、教材に意識が向くようにという視点を間違えて捉えていたと思うので、気をつけていきたいです。とても勉強になりました。
- 授業の導入方法が新しく、ぜひ試してみたいと思った。これまでの自分の授業が、どれほどレベルの低いものだったのかを痛感した。
- 簡単そうに見えたドッジボール対決の文がとても深く面白いものでありました。
- 「気持ちを考えさせる必要はない」という言葉が印象に残りました。思考を刺激する発問を作るのはとても時間がかかりそうですが、頑張ってみます。
- 生徒に「考えさせる」ということのポイントが掴めました。今まで要領が掴めず悩んでいましたが解決できそうです。ありがとうございました。
- 教材に興味をもたせるような仕掛け、映画の予告のようなイメージを持つこと。
- 教材に興味をもたせる方法で「映画の予告編を考える」という考えが面白いなと思いました。最終的に、生徒たちに自分ごととして考えを広げてほしいので、その工夫もしていきたいなと思いました。
- 指導書を見ないのがとても面白かったです。
- 鈴木先生の講演会は一度聴いたことがあり、授業で活用して生徒の反応が良くなりました。今回は、その時とは違った視点の内容だったので授業で取り入れたいなと思いました。ありがとうございました。
- 分かりやすく取り組みやすいです。道徳初心者の私でも次に何をすべきか見えました。無駄な質問が多かったかもしれないと反省していま



	<p>す。</p> <p>○小さな道徳も活用してみたいと思います。</p> <p>○興味をもたせる教材の提示、思考を刺激する発問、ワクワク・ドキドキしてきました。授業づくりを楽しめる気がしてきました。</p> <p>○その教材ならではの「ねらい」を設定することの大切さを痛感しました。一から「ねらい」を設定することで、その教材を深く読み込んだり、興味を持たせるアイデアにつながったり、思考を刺激する発問につながったりと、一つの授業に教師自身が深く学ぶことにつながるんだと実際に授業づくりをして感じました。</p> <p>○道徳授業づくりの4つの視点（ねらいの設定、教材に興味を持たせる、思考を刺激する発問、身近な問題としての意識付け）は、大変参考になりました。</p> <p>○まず、教師自身で教材を読み、授業づくりをおこなうこと。そうすることで教材を真剣に読む機会となり、授業の流れをイメージし、何を伝えたいのか、何を考えさせたいのか等、深い学びへとつながる基盤ができることは大きな収穫となりました。</p> <p>○毎回ではないが、適宜、Zoomでの研修開催もありだなと感じます。参加がしやすい。</p> <p>○コロナ禍、工夫してオンライン研修を企画して頂いてありがとうございました。出張等もあり、25名の参加となりましたが、学校（チーム一丸）で研修できて良かったです。</p> <p>○今後もこのような研修を受けたいです。</p> <p>○リモート研修会良かったです。今日のような研修をお願いします。</p> <p>○みんな遠慮をしていたから事前に「チャット係」がいても良かった。オンラインなら県外の先生にも講習してもらえる機会も増えると思います。（オンライン研修、大賛成です）</p> <p>○今回みたいな授業づくりや一緒になって考える、議論する研修会を要望します。できればオンライン研修でないほうがいと2回の研修を通して思いました。ただ、コロナ禍でたくさんの研修が延期や中止になる中、このような研修を実施して頂き本当にありがとうございました。</p> <p>○今回の研修会で学んだことを今後活かしていきたいと考えています。貴重な場を頂きありがとうございました。</p>
--	--

<アンケートの結果>

目標参加者数	100人	参加者	50人	参加率 50% 参加率=目標参加数÷参加数
アンケート回収数	26件	回収率	52%	回収率=回収数÷参加者数 (%)

アンケート項目	評価4		評価3	
	研修の時間について	適当であった	21人(80.8%)	まあまあ適切であった
興味を引く研修内容か	非常に良かった	22人(84.6%)	良かった	4人(15.4%)
今後の教育活動に活かそうですか	非常に活かそう	23人(88.5%)	まあまあ活かそう	3人(11.5%)

※評価2、評価1は極少数であった。